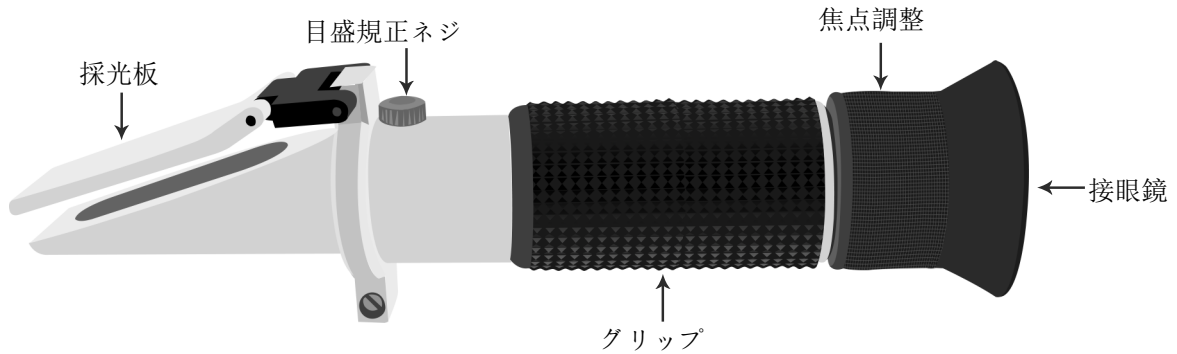


# 取扱説明書

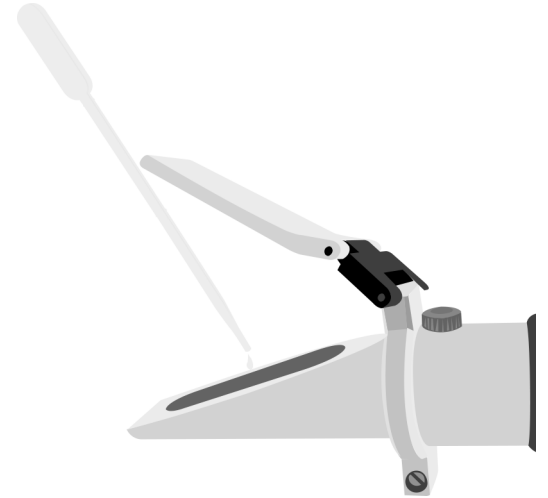
## 手持屈折計

各部の名称:

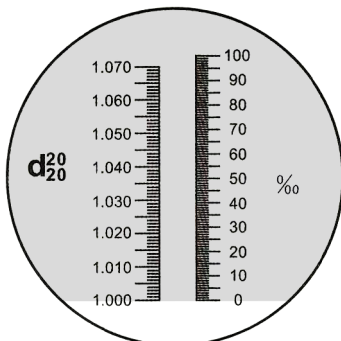
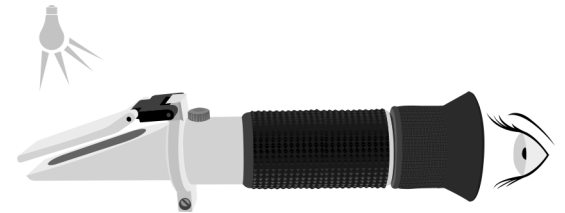


### 目盛規正方法

1. 採光板を開き、プリズム面にほこりがないことを確認し、プリズム面に蒸留水を2、3滴落としてください。採光板を閉め、水がプリズム面全体に均等に広がって、気泡や乾いた箇所がないように確認してしてください。次のステップに進む前に、測定対象をプリズム面に約30秒間置いてください。（測定対象が屈折計の周囲温度に適応するためです。）



2. 屈折計の前端を明るい方向を向いて、接眼鏡を覗いてください。中央に目盛が見えるはずですが（目盛をはっきり見えない場合は焦点調整を回してください）。視野の上部は青色であり、下部は白色になります。

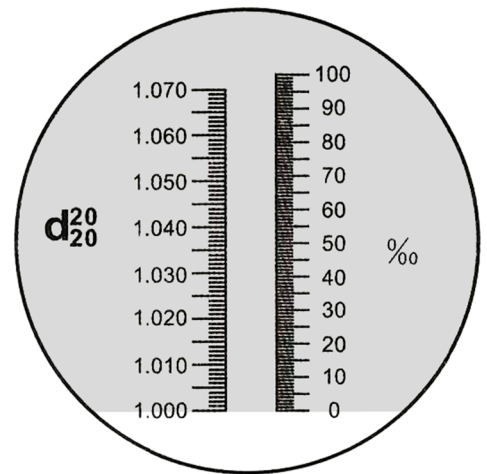


接眼鏡を覗くとこの図のような明暗の境界線が見えます。

（ステップ2およびステップ3のスケールは参考用です。具体的なスケールについては、お使いの製品の説明書をご参照ください。）

3. 接眼鏡を覗き、ドライバーを使って目盛規正ネジを回してください。青い上部と白い下部の境界がゼロ目盛と完全に一致するまで調整してください。下の図のようになります。これで目盛規正は終了です。

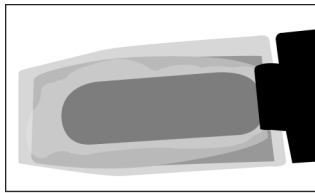
注意：測定する時の周囲温度が20℃/68°Fであることを確認してください。部屋や環境（測定対象ではなく）の作業温度が5°F以上変化する場合は、精度を維持するために再目盛規正をおすすめします。計器が自動温度補正システムを備えている場合、再目盛規正する際には、部屋の周囲作業温度は必ず20℃（68°F）である必要があります。一度目盛規正が完了すると、許容範囲内の周囲温度の変化（10℃-30℃）は精度に影響しはしません。



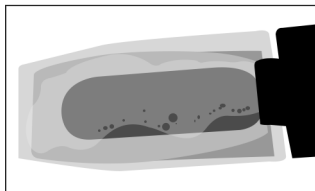
“0”に規正してください

## 操作

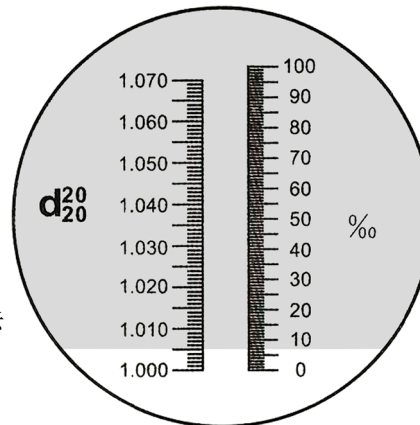
測定する液をプリズム面に数滴落として、採光板を閉め、測定試料がプリズム面に均等に分布し、プリズム面の気泡が除去されていることを確認してください。屈折計の前端を明るい方向に向向いて、目盛に青色と白色部分の境界線が見え、濃度のスケールを読み取れます。



測定試料が均等に分布している



測定試料が均等に分布しておらず、気泡が除去されていない



測定試料の読み取り値

参考用です。具体的なスケールについては、お使いの製品の説明書をご参照ください

## 注意-測定後のお手入れ

1. 本器と測定試料が同じ温度であることが必要です。本器と測定試料の温度が異なる場合は、測定環境に十分馴染ませてから測定してください。
2. 本器を湿った作業環境にさらさないでください。また、本器を水に浸さないでください。計器が曇ってしまった場合は、水が内部に入っている可能性があります。サービス技術者に連絡、または販売業者に問い合わせてください。
3. プリズムのコーティングを損傷を避けるために、本器で摩擦性や腐食性の化学物質を測定しないでください。
4. 測定ごとに柔らかい湿った布で計器を清掃してください。
5. プリズムのコーティングを損傷を避け、および正確な測定対象結果を得るため、プリズムを定期的に清掃してください。
6. 本器は光学機器であり、注意深く取り扱いと保管が必要です。これを怠ると、光学部品や本体に損傷を与える恐れがあります。